

パブリックコメント実施結果報告書

平成25年5月30日

(担当課)	生活環境部くらしの安心局住宅政策課	福祉保健部長寿社会課
(担当者)	林 拓磨	山田 直樹
(連絡先)	0857-26-7408	0857-26-7178

テーマ： 鳥取県高齢者居住安定確保計画（案）

①<手段別意見応募件数>（意見件数を記入してください。応募者数は（ ）書きしてください。）

（記入例：1人が提出したものに3つの意見が記載されていた場合 3（1）と記してください。）

郵便	ファックス	電子メール	県民室・ 県民局へ	その他の 方法	計
()	7 (2)	4 (3)	()	()	11 (5)

②<応募意見の政策案等への反映状況>

対応状況	件数	主 な 意 見
反映した (一部のみ反映した ものを含む)		
既に盛り込み済み	3	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢化率の増加に見合った高齢者の住まいをその必要量、機能別に整備する目標となっているのでしょうか。 ・あんしん賃貸支援事業の実施に当たっては、市町村との連携が必要です。今後増大が予想される高齢者への入居支援を進めるには、市町村の関与をもっと強めると共に、人的支援・財政的支援も必要です。 ・連帯保証人の確保が困難な高齢者が増えています。所得水準の低い高齢者に対応した債務保証制度が求められます。
対応困難		
要留意 今後の検討課題	7	<ul style="list-style-type: none"> ・住み慣れた地域で暮らし続けるのは理想ですが、家族の負担は計り知れないものがあります。家族に「私たちが応援するので頑張ってください」とは気軽に言えません。施設入所を希望される方がとても多いのが実情です。そういった観点から、特別養護老人ホームや小規模多機能の数を是非増やしていただきたいです。サービス付き高齢者住宅の数が増えつつありますが、認知症が進行すると退かせざるを得なかったり、お金を持っている人でないと入居できない現実もあります。 「お金がない」ため必要なサービスが受けられない方は自分の周りにもたくさんいます。そういった点も考慮していただければと思います。 (高齢者向け住宅、公営住宅について) ・建てるのは、生活に便利な所、賑わいのある所が良い。 ・棟数は、2～4棟が良い。住んでいる人達との交流も出来る。 ・金額も抑えてもらいたい。家賃が低くないとまず入居できない。 ・国の施策に沿って、公的施設は増やさず、民間営利企業類みの供給目標設定になっているように思います。 ・元気高齢者が増加するのは当然ですが、要介護高齢者も増加します。現在でも特別養護老人ホームや介護保健施設、介護療養型医療施設への入所待ちは増えています。 ・国が誘導する『「施設」から「在宅」へ』の施策が言葉通りに進むことはあり得ません。財政対策優先の高齢者施策であり、「人」を中心に据えた施策でないだけに、このままでは矛盾が矛盾を生み悲惨な高齢者が多数生まれるのではないかと危惧します。こうした高齢弱者と言われる人々への終の棲家の整備は行政の責任に負うところが大きいと思うのですが、整備目標としては「無い」に等しい計画となっています。一定の所得がある高齢者は民間営利業者の様々な施設への入居も可能ですが、そうでない人々にとっては公的整備が頼みの綱です。きれいな計画書でなくていい、泥臭い不十分なものでもいい、悩み苦悩するような計画であっていいので県民が希望がもて勇気が湧いてくるような計画づくりを期待します。
その他 (例：施策の体系 外の意見等)	1	<ul style="list-style-type: none"> ・計画書の概要、等等、もっともっと詳しく教えてください。！
計	11	

③<意見募集結果概要書を、1部添付してください。>

→とりネットのパブコメページ・
県庁ロビー掲示板で公表します。

他の公表方法として該当するものに○を付してください。

とりネット (実施担当課)	報道機関への 資料提供	県議会への報告	県民室等での 縦覧等	広報誌等への 掲載	その他
	○	○	○		

※その他の例：審議会報告等